

平成21年度報告書(単年度)様式

表1 指定医療機関別受診者数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
羽島市民病院	318	75.7%	130	75.6%	188	75.8%
他医療機関(含ニテアス検診)	102	24.3%	42	24.4%	60	24.2%
合計	420	100.0%	172	100.0%	248	100.0%

表2-1 年齢階層別受診者数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	30	7.1%	16	9.3%	14	5.6%
40～49歳	46	11.0%	18	10.5%	28	11.3%
50～59歳	64	15.2%	22	12.8%	42	16.9%
60～69歳	153	36.4%	53	30.8%	100	40.3%
70～79歳	101	24.0%	46	26.7%	55	22.2%
80～89歳	24	5.7%	15	8.7%	9	3.6%
90～99歳	2	0.5%	2	1.2%	0	0.0%
合計	420	100.0%	172	100.0%	248	100.0%

※平成22年3月31日現在

表2-2 検査項目別受診者数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診+胸部X線+胸部CT	127	30.2%
問診+胸部X線のみ	186	44.3%
問診+胸部CTのみ	5	1.2%
問診のみ	102	24.3%
合計	420	100.0%

※平成22年3月31日現在

注1: 医学的所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関連する可能性がある①～⑨及びその他の所見⑩(石綿ばく露に関連しない)を確認する。(重複含む)

- ①胸水貯留
- ②胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)
- ③びまん性胸膜肥厚
- ④中皮腫
- ⑥肺野の間質影
- ⑦円形無気肺
- ⑧肺がん
- ⑨リンパ節の腫大
- ⑩その他の所見

※③または⑥の所見が見られ石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は⑩としている。

※H21から④は中皮腫、⑧は肺がんに変更しているため、H20以前に記載している④は胸膜腫瘍疑い、⑧は肺野の腫瘤状陰影となる。

また、H20以前の⑤胸膜下曲線様陰影については、H21から⑥の肺野の間質影に統一している。

※H21から所見が疑いとされた場合は所見番号の後ろに「疑」を記載している。

注2: ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア～オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
 - イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
 - ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
 - エ. 職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
 - オ. 上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)
- (「具体的なばく露歴」の記入例)

例1 幼少期(S25-27頃)に石綿工場で遊んだ経験があり、父が石綿工場で勤務していた → ウとエ

例2 石綿工場近くの〇〇小学校にS30-35の6年間通学 → オ

例3 S28-40の間、設備の点検のため石綿工場に定期的に入出入りしていた。かつ、住居が石綿工場に近接(S26-50に〇〇1丁目に居住)していた → イとオ

イとエの分類が紛らわしいものの例: 業務上で吹き付け石綿がある場所や石綿工場の敷地内に立入る場合は、原則「イ」とする。ただし、作業現場以外(事務室・当直室・食堂など)への立入に限っては「エ」とする。

注3: ばく露歴分類案については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
- イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
- ウ. 上記ア～イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
- エ. 上記ア～ウに該当せず、職域以外で石綿取扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
- オ. 上記ア～エに該当しないもの

上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 経過観察・終了の欄については、調査終了の場合に「終」とその理由を記入する

注5: 備考欄については、特記事項を記入する

(例1: X線・CT以外の検査を実施した場合の検査項目の記入、例2: 石綿救済制度や労災制度の認定や申請中である旨の記入 等)

A表:昭和51年以前に羽島市に居住していた者のばく露歴集計表

ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境ばく露あり	オ.その他	小計	うち女性
●					13	2
●	●				1	0
●		●			2	0
●			●		3	0
●				●	21	4
●	●	●			0	0
●	●		●		0	0
●	●			●	3	0
●		●	●		0	0
●		●		●	0	0
●			●	●	3	0
●	●	●	●		0	0
●	●	●		●	0	0
●	●	●	●	●	0	0
●		●	●	●	1	1
●	●	●	●	●	0	0
	●				5	0
	●	●			1	1
	●		●		2	0
	●			●	13	8
	●	●	●		0	0
	●	●		●	3	2
	●		●	●	1	0
	●	●	●	●	3	3
		●			12	8
		●	●		3	3
		●		●	27	20
		●	●	●	14	10
			●		7	3
			●	●	43	21
				●	239	162
計*	47	32	66	80	371	248
うち女性*	7	14	48	41	231	

* 縦計については重複計上

A-2表:昭和51年以前に羽島市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表

	計	うち女性	ア. 主に直接職歴	うち女性	イ. 主に間接職歴	うち女性	ウ. 主に家庭内ばく露	うち女性	エ. 主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ. その他	うち女性
40歳未満	30	14	1	0	1	0	3	1	9	2	16	11
40～49歳	46	28	2	0	3	2	10	7	8	5	23	14
50～59歳	64	42	8	2	5	2	8	7	5	2	38	29
60～69歳	153	100	19	1	9	4	21	18	17	10	87	67
70～79歳	101	55	12	3	8	5	11	7	10	5	60	35
80～89歳	24	9	5	1	2	1	1	1	1	0	15	6
90～99歳	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	420	248	47	7	28	14	56	41	50	24	239	162

B表：昭和18～51年に羽島市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表

(B-1 所見について)

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	170(11)	94(8)	20(2)	3	17	9	28(2)	19(1)	12	8	93(7)	55(6)
①胸水貯留	2	0							2	0		
②胸膜プラーク	169(5)	93(5)	20	3	17	9	28	19	12	8	92(5)	54(5)
③びまん性胸膜肥厚	3	1			1	1			1	0	1	0
④中皮腫	3(2)	3(2)					1(1)	1(1)			2(1)	2(1)
⑥肺野の間質影	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	8	3
⑦円形無気肺	1	1							1	1		
⑧肺がん	1(1)	0									1(1)	0
⑨リンパ節の腫大	0	0										

※①～⑨は重複計上含む

※()は所見疑いを再掲

※③または⑥の所見が見られ石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

⑥肺野の間質影の詳細分類

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
肺野の間質影実人数	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	8	3
胸膜下曲線様陰影	9(3)	3(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	5	2
胸膜下曲線様陰影うち直下(再)	8(3)	3(1)	1(1)	0	1	0	1(1)	1(1)	0	0	5	2
胸膜下曲線様陰影うち非直下(再)	1(1)	0	1(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小葉中心性粒状影	1	1									1	1
すりガラス様陰影												
網状影	3	0									3	0
蜂窩肺												
肺実質内帯状影												

※()は所見疑いを再掲

※石綿以外の原因である可能性が高いと判断した場合は計上していない。

③びまん性胸膜肥厚、⑥肺野の間質影の所見における石綿との関連

③びまん性胸膜肥厚	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
強く疑う												
疑う	1								1	0		
可能性がある	2	1			1	1					1	0
合計	3	1			1	1			1	0	1	0
他の原因である可能性が高い	1	0	1	0								

※()は所見疑いを再掲

⑥肺野の間質影	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
強く疑う	2	1									2	1
疑う	3	1			1						2	1
可能性がある	7(3)	2(1)	2(2)	0			1(1)	1(1)			4	1
合計	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1	0	0	8	3
他の原因である可能性が高い	8	1					1				7	1

※()は所見疑いを再掲

(B-2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、肺野の間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表)

①胸水貯留

	計	うち女性	ア.主に 直接職 歴	うち女性	イ.主に 間接職 歴	うち女性	ウ.主に 家庭内 ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳	2	0							2	0		
80～89歳												
90～99歳												
合計	2	0							2	0		

※()は所見疑いを再掲

②胸膜プラーク

	計	うち女性	ア.主に 直接職 歴	うち女性	イ.主に 間接職 歴	うち女性	ウ.主に 家庭内 ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
40歳未満	4	2	0	0	1	0	1	1	0	0	2	1
40～49歳	15	8	1	0	2	2	5	3	2	1	5	2
50～59歳	15	5	4	1	2	1	3	2	0	0	6	1
60～69歳	69(4)	49(4)	9	1	6	4	10	9	4	4	40(4)	31(4)
70～79歳	52(1)	26(1)	4	1	4	1	7	4	5	3	32(1)	17(1)
80～89歳	12	3	2	0	2	1	0	0	1	0	7	2
90～99歳	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
合計	169(5)	93(5)	20	3	17	9	28	19	12	8	92(5)	54(5)

※()は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

	計	うち女性	ア.主に 直接職 歴	うち女性	イ.主に 間接職 歴	うち女性	ウ.主に 家庭内 ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
40歳未満												
40～49歳	1	0									1	0
50～59歳												
60～69歳												
70～79歳	1	0							1	0		
80～89歳	1	1			1	1						
90～99歳												
合計	3	1			1	1			1	0	1	0

※()は所見疑いを再掲

④肺野の間質影

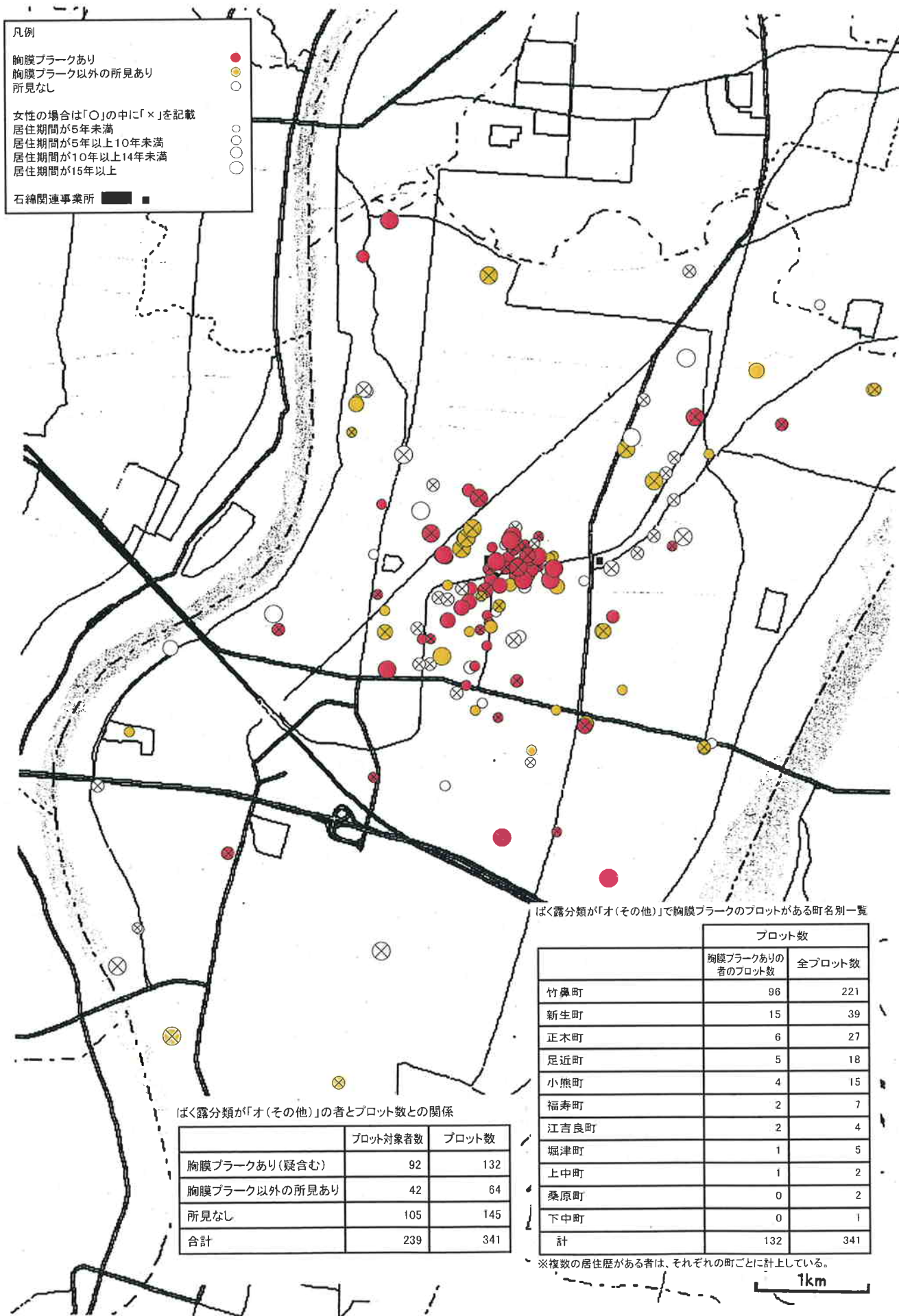
	計	うち女性	ア.主に 直接職 歴	うち女性	イ.主に 間接職 歴	うち女性	ウ.主に 家庭内 ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
40歳未満												
40～49歳												
50～59歳												
60～69歳	5(2)	4(1)	1(1)	0			1(1)	1(1)			3	3
70～79歳	5	0									5	0
80～89歳	2(1)	0	1(1)	0	1	0						
90～99歳												
合計	12(3)	4(1)	2(2)	0	1	0	1(1)	1(1)			8	3

※()は所見疑いを再掲

(C-3 調査対象者の状況)

	計	うち女性	ア.主に 直接職 歴	うち女性	イ.主に 間接職 歴	うち女性	ウ.主に 家庭内 ばく露	うち女性	エ.主に立 入・屋内環 境ばく露	うち女性	オ.その 他	うち女性
経過観察者	414	246	44	7	28	14	56	41	49	24	237	160
調査終了者	6	2	3	0	0	0	0	0	1	0	2	2
合計	420	248	47	7	28	14	56	41	50	24	239	162

○図：ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図



石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について

平成20年度に石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

結果は、中皮腫1人、肺がん2人、良性石綿胸水1人であった。

このうち、労災保険制度の認定を受けた者が2人であったことが本人や家族への問い合わせにより確認された。

平成20年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち女性	ア.主に直接職歴	うち女性	イ.主に間接職歴	うち女性	ウ.主に家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
対象者	5	0	2		1				2			
石綿関連疾患(疑いを含む)	4		2						2			
a 中皮腫	1		1									
b 肺がん	2		1						1			
c 石綿肺												
d 良性石綿胸水	1								1			
e びまん性胸膜肥厚												

※()は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。